

北海道における酪農経営の離脱状況について
(令和5年2月1日～令和6年1月31日)

令和6年5月
北海道農政部生産振興局畜産振興課

1 調査方法

- 道が市町村と連携し、学校・試験場を含めた道内の生乳出荷者を対象に、調査を実施した。

対象期間：令和5年2月1日～令和6年1月31日
 「離脱」の定義：離農や酪農以外への経営転換により、生乳出荷を中止することを「離脱」としており、協業法人化のために個別経営体が出荷中止することも離脱に含まれる。

2 調査結果

(1) 生乳出荷戸数

- 1年間に新規参入が25戸あったものの、249戸が離脱したため、224戸の減少となった。協業法人化・既存法人への合併による離脱はなかった。
- 全道の生乳出荷戸数の減少率は4.64%で、昨年に引き続き大きな減少となった。
- 振興局別の生乳出荷戸数減少率は、後志が14.29%と最も高く、次いで、日高、空知の順となった。

(2) 離脱要因と離農後の状況

- 離脱の要因は、「離農」と「経営転換」に分類され、離農は71.9%、経営転換は28.1%となっている。
- 離脱の要因は、「高齢化と後継者問題」による離農が32.1%と最も高く、次いで「乳雌育成部門」への経営転換(14.5%)、「経営者の事故・病気・死亡」による離農(12.0%)、「負債問題」による離農(11.2%)の順となっている。
- 離農後の状況は、「無職」(42.5%)が最も高く、「不明」を除けば、次いで「他産業への従事」(20.1%)が高い。

□ 生乳出荷戸数

時点	令和6年2月1日
生乳出荷戸数	4,600戸

□ 離脱及び新規参入の推移

(単位：戸、%)

期間	30.2~31.1	31.2~R2.1	R2.2~R3.1	R3.2~R4.1	R4.2~R5.1	R5.2~R6.1
離脱戸数 ①	168	196	142	170	244	249
協業法人化による離脱を除く	164	183	138	156	241	249
新規参入戸数 ②	21	23	29	21	22	25
減少戸数 (①-②)	147	173	113	149	222	224
経営転換戸数	78	74	52	48	76	70
減少率	2.61%	3.16%	2.13%	2.87%	4.40%	4.64%

□ 生乳出荷戸数の減少率（振興局別）

空知	石狩	後志	胆振	日高	渡島	檜山	
9.62%	1.90%	14.29%	3.85%	10.91%	6.84%	4.76%	
留萌	上川	宗谷	オホーツク	十勝	釧路	根室	全道
7.14%	4.46%	7.32%	3.43%	4.10%	4.56%	3.14%	4.64%

□ 離脱要因と離農後の状況

(単位：戸)

離農	経営転換						合計					
	高齢化と後継者問題	労働力不足	将来への不安	負債問題	経営者の事故・病気・死亡	その他						
179 (71.9%)	80 (32.1%)	7 (2.8%)	10 (4.0%)	28 (11.2%)	30 (12.0%)	24 (9.6%)	70 (28.1%)	36 (14.5%)	17 (6.8%)	17 (6.8%)	0 (0.0%)	249 (100.0%)
離農後の状況	他産業への従事	無職	経営者の死亡	法人等の従業員	不明							
	36 (20.1%)	76 (42.5%)	6 (3.4%)	24 (13.4%)	37 (20.7%)							

(3) 飼養頭数規模別の離脱戸数及び要因

- 離脱戸数を飼養頭数規模別にみると、100頭未満の階層が占める割合が全体の97.6%と大宗を占めている。
- 100頭未満の階層では、離脱要因として「高齢化と後継者問題」による離農が78戸（32.1%）と最も多く、次いで「乳雌育成部門」への経営転換が36戸（14.8%）、「経営者の事故・病気・死亡」・「負債問題」による離農が28戸（11.5%）となっている。
- 100頭以上の階層では、離脱戸数は6戸であり、その内訳は「高齢化と後継者問題」・「経営者の事故・病気・死亡」による離農が2戸、次いで「その他」による離農が1戸、「畜産部門」への経営転換が1戸となっている。

□ 離脱戸数及び要因の内訳（経産牛飼養頭数規模別）

区分	~99頭	100頭~				計
		0~29頭	30~49頭	50~79頭	80~99頭	
全離脱戸数に占める割合	97.6%	31.7%	41.4%	20.5%	4.0%	100.0%
【参考】前年	96.4%	35.3%	38.9%	18.6%	3.6%	100.0%

区分	離脱要因	~99頭	100頭~				計				
			0~29頭	30~49頭	50~79頭	80~99頭					
離農	高齢化と後継者問題	78 (32.1%)	32 (40.5%)	28 (27.2%)	13 (25.5%)	5 (50.0%)	2 (33.3%)	2 (50.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	80 (32.1%)
	労働力不足	7 (2.9%)	3 (3.8%)	3 (2.9%)	0 (0.0%)	1 (10.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	7 (2.8%)
	将来への不安	10 (4.1%)	2 (2.5%)	4 (3.9%)	4 (7.8%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	10 (4.0%)
	負債問題	28 (11.5%)	8 (10.1%)	15 (14.6%)	5 (9.8%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	28 (11.2%)
	経営者の事故 病気・死亡	28 (11.5%)	6 (7.6%)	10 (9.7%)	9 (17.6%)	3 (30.0%)	2 (33.3%)	2 (50.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	30 (12.0%)
	その他	23 (9.5%)	3 (3.8%)	11 (10.7%)	8 (15.7%)	1 (10.0%)	1 (16.7%)	0 (0.0%)	1 (50.0%)	0 (0.0%)	24 (9.6%)
	小計	174 (71.6%)	54 (68.4%)	71 (68.9%)	39 (76.5%)	10 (100.0%)	5 (83.3%)	4 (100.0%)	1 (50.0%)	0 (0.0%)	179 (71.9%)
経営転換	乳雌育成部門	36 (14.8%)	11 (13.9%)	14 (13.6%)	11 (21.6%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	36 (14.5%)
	畜産部門	16 (6.6%)	8 (10.1%)	8 (7.8%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (16.7%)	0 (0.0%)	1 (50.0%)	0 (0.0%)	17 (6.8%)
	耕種部門	17 (7.0%)	6 (7.6%)	10 (9.7%)	1 (2.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	17 (6.8%)
	協業法人化	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
	小計	69 (28.4%)	25 (31.6%)	32 (31.1%)	12 (23.5%)	0 (0.0%)	1 (16.7%)	0 (0.0%)	1 (50.0%)	0 (0.0%)	70 (28.1%)
総計	243 (100.0%)	79 (100.0%)	103 (100.0%)	51 (100.0%)	10 (100.0%)	6 (100.0%)	4 (100.0%)	2 (100.0%)	0 (0.0%)	249 (100.0%)	